

モニタリングレポート

令和7年度 老人福祉センター可児川苑 指定管理者モニタリングレポート

施設名称		老人福祉センター 可児川苑
所在地		可児市坂戸765番地
指定管理者	名称	公益社団法人可児市シルバー人材センター
	代表者	理事長 久野泰臣
	住所	可児市今渡682番地1
モニタリングの実施方針・方法等		本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握した。
担当部課		福祉部高齢福祉課
(問合わせ先)	電話番号	0574-62-1111 内線3221
	E-mail	koreifukusi@city.kani.lg.jp
モニタリングの総合コメント		令和7年度は、年間を通じて休館することなく計画どおりの適切な施設運営が図られた。各種講座や教室についても中止することなく順調に開催され、高齢者の生きがいづくりや健康増進、地域コミュニティの活性化に大きく寄与している。 利用者数においては、前年度比で約7.8%の増加となった。この主な要因としては、麻雀教室をはじめとする人気の自主事業においてキャンセル待ちが発生するほどの高いニーズがあり、それらが口コミ等を通じて新規利用者の定着やリピート利用につながったことが考えられる。今後も、高齢者の多様なニーズを的確に捉えた魅力ある事業展開を期待したい。 また、施設の老朽化に伴い設備等の不具合が頻発しているものの、指定管理者による日頃の日常点検や巡回が徹底されており、異常の早期発見と迅速な初期対応・報告がなされている。重大な事故や長期休館を防ぎ、未然にリスクを回避できている点は、危機管理および施設保全の観点から高く評価できる。
今後の事業改善に向けた考え方		物価高騰や光熱費・人件費の上昇など、施設運営を取り巻く環境は厳しさを増しているが、可児川苑は本市の高齢者福祉を推進し、「健康寿命の延伸」や「地域の居場所づくり」を担う重要な拠点施設である。 自主事業においては、麻雀教室のように定員超過となる人気講座について、開催コマ数の増設や開催方法の見直し、さらには新たなニーズ(健康運動・認知症予防・ICT活用講座など)に応える新プログラムの企画・展開を検討されたい。幅広い層の高齢者が気軽に立ち寄り、継続して参加できる機会を創出することが求められる。 施設管理においては、経年劣化が進む施設・設備において利用者の安全と快適性を確保するため、計画的な清掃および予防的な修繕・点検を的確に実施されたい。今後も市との密接な連携のもと、変化する高齢者ニーズに柔軟に対応し、地域に愛され有効活用される施設運営に努めていただきたい。